

# (仮称) 滋賀の県立高等学校魅力化プランについて

教育・文化スポーツ常任委員会資料1  
令和4年(2022年)7月19日  
高校教育課魅力ある高校づくり推進室

## これからの滋賀の県立高等学校の在り方に関する基本的な考え方(令和4年3月策定)

本県教育の  
教育理念

未来を拓く心豊かで  
たくましい人づくり

育成すべき  
生徒像

生きる力(自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等)がある

高等学校  
の役割

・生きる力を育む場  
・好奇心や探究心を更に発展させる場  
・「答えを見つける」教育から「課題を見つけて解決に向けて考え行動する」教育の場へ

魅力化の視点

◎多様性のある社会や人口減少社会等への対応を踏まえて、小・中・高・大・社会・高専のつながりを大切にして、ICTを活用し、持続可能な形で魅力化を図る  
◎森・川・里・湖が水系でつながり、近江の心が根付いた「滋賀」ならではの学び、それぞれの県立高校でこそその学びを地域とともに推進する

### 滋賀の県立高等学校づくりのコンセプト

多様な生徒一人ひとりが、「滋賀」という地域から学び、社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進める

#### 1 「滋賀」に学ぶ

滋賀の自然、歴史、文化、人、産業等を教育資源とした学びの充実

◎知識・技能を活用し課題を解決する確かな学力の育成

◎自立した社会人を育てるキャリア教育の充実

◎生徒の学ぶ意欲を育むための多様な学習ニーズ等への対応

#### 1と2を支える環境整備

◎多様な学びの提供や人と人のつながりの創出等、生徒数減少への対応

◎多様な学びを実現するICTを活用した教育の提供

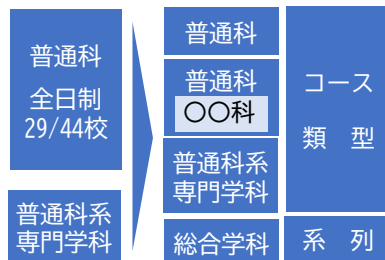
◎生徒の学びを支援し、自ら学び続ける教職員の育成

◎持続可能な推進体制の構築

#### 2 「滋賀」で学ぶ

魅力と活力ある取組を明確にし、見える化する学校づくり

◎普通科の特色化(全県一区制度継続)(普通科系専門学科を含む)



◎職業系専門学科等の特色化・高度化



◎定時制/通信制の役割への対応

### 将来を見据えた整理

#### 1 県立高等学校と私学との関係について

◇滋賀の高校教育について、公私が建設的に議論する定期的な協議の場の検討

#### 2 県立高等学校の学校規模について

◇規模の大小にはそれぞれメリット・デメリットがあり、それぞれに特徴がある

◇地域の実情に応じた様々な規模の高校において、生徒の力を伸ばす教育の充実

#### 3 将来に向けた議論の必要性について

◇県立高校は地域活性化等の多面的な機能をもつ→市町等の関係者との議論を進める

◇県が全県の視野から魅力化の方向性を提示→関係者の意見を丁寧に聞き魅力化を図る

#### 4 入学者選抜の在り方について

◇時代の変化とともに、より良い選抜方法の課題整理と改善を図る

### 令和4年度以降の進め方

令和4年度：基本方針に基づき(仮)魅力化プラン(たたき台→意見聴取→案作成)

〈県教育委員会〉

全県の視野からの魅力化の方向性を提示

・多様な選択肢の提供  
・特徴的な学科等の配置

※(仮)地域別協議会の設置

(将来を見据えた検討→プランに反映)

〈学校〉

各校の目指す姿の検討

・教職員による主体的な具体化策検討  
・中学校や地域との意見交換や先進事例の研究等



7月～8月：魅力化プランのたたき台作成(県教育委員会・各高等学校)

9月～12月：圏域別で(仮称)地域協議会実施 1月：実施計画の検討

→ 令和5年度以降順次実施

# 県立高校の魅力化（全体イメージ）

## 県立高校の在り方に関する基本方針における取組の方向性

- 確かな学力の育成
- キャリア教育の充実
- 多様な学習ニーズへの対応
- 普通科の特色化（普通科系専門学科を含む）
- 職業系専門学科・総合学科の特色化・高度化
- 定時制／通信制の役割への対応
- 生徒数減少への対応
- ICTの活用
- など

### スクール・ミッションの再定義

・高等学校の設置者が、  
各高等学校が育成しようとする人材などについてスクール・ミッションとして再定義

※設置者（県）が、各高校等の主体性を重視しながら、連携しつつ再定義。

### スクール・ポリシーの策定

- ・高等学校は、  
3つの方針（スクール・ポリシー）を定め公表
- 育成を目指す資質・能力に関する方針
  - 教育課程の編成および実施に関する方針
  - 入学者の受け入れに関する方針

### （仮称）魅力化プランの作成

（各県立高校の魅力化の方向性の検討）

#### 学科、コース等の設置・改編などの検討

- ・普通科の特色化（普通科系専門学科を含む）
- ・職業系専門学科等の特色化・高度化
- ・定時制／通信制の役割への対応
- など

#### 【各高校における魅力化の方向性の観点】

各高校ごとに、どこに重点を置くかを位置づけ

地域連携重点

多様な学び重点

産業教育重点

高大連携重点

生活・体育・芸術系重点

地域別協議会等による地域との意見交換

反映

連動

修正

意見の  
反映・  
検討

フィード  
バック

# 魅力あふれる県立高校（魅力化の方向性）

## 地域連携重点<地域活性化>

- 地元をもっと知って、地元へ貢献。滋賀の郷土食や特産品をもっと知って、PRしたい。
- 「商店街の活性化」やどの年代にも優しい、地域の「住みやすさ」を考えたい。
- 将来、地元で公務員として働きたい。

- ☆ 地域や社会の将来を担う人材育成も視野に入れ、地域の課題解決に向けた学習をする高校
- ☆ フィールドワークを通じ、地域の魅力や課題を学習する学校設定教科「地域学」のある高校
- ☆ 工業や商業、農業、家庭等の専門学科の視点で地域活性を考える高校
- ☆ スポーツや観光等のレジャーの視点で地域活性を考える高校

## 高大連携重点<グローバル人材・科学技術人材育成>

- SDGsの実現に向けて研究したい。
- 科学の勉強をもっとして研究者になりたい。医学を勉強して地域医療に貢献したい。
- フェアトレードや貿易など国際経済の勉強をして、世界の中の日本を考えたい。

- ☆ 大学や研究機関、海外の高校等と連携・協働して興味ある学問分野を研究できる高校
- ☆ 理科や数学の高度な勉強ができる高校
- ☆ 文部科学省の事業や県事業の指定を受けて他校にない特色ある勉強ができる高校
- ☆ 文系・理系にとらわれず幅広く勉強できる高校（STEAM教育の取組）
- ☆ 中高一貫教育による深い学びのできる高校

## 多様な学び重点<キャリア教育>

- 自分がどんな職業に向いているのか知りたい。
- 高校で、大学進学か就職か進路を決めたい。
- 選択科目が多い高校で、興味があることを見つけて勉強したい。

- ☆ 3年間かけて将来を考えるキャリア教育を実施している高校
- ☆ スポーツや芸術等、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多くの選択科目がある高校
- ☆ 外部人材を活用し、幅広い視点を育てる高校
- ☆ 地元企業でのインターンシップを取り入れた高校

## オンリーワン(魅力ある)高校

「夢・想い」をかなえる場所は  
ここにある

## 産業教育重点<技術者の育成>

- 将来、モノづくりに関わりたい。資格を取りたい。
- 県内の工場や事業所で、最先端の機器を使いながら働きたい。
- 将来、起業したい。

- ☆ 職業上の専門性の基礎を学べる高校
- ☆ 企業と連携しビジネスモデルを開発する学びができる高校（起業家教育）
- ☆ 企業が持つ産業技術や大学等の知識・設備等を生かした勉強ができる高校

## 高大連携重点<専門的な学問分野>

- ビッグデータの活用方法を学びたい。
- 脱炭素社会を目指した新しい再生可能エネルギーを開発したい。
- 森・川・里・湖が水系でつながる滋賀の環境を守りたい。
- 将来、教育関係の仕事に就きたい。

- ☆ データサイエンスの基礎が勉強できる高校
- ☆ 環境エネルギーの基礎が勉強できる高校
- ☆ 琵琶湖を中心とした自然環境や生態系について勉強できる高校
- ☆ 教育に関する探究学習に取り組める高校

## 多様な学び重点<学びの充実>

- 勉強は苦手だったけど、高校で学力を身に付けたい。
- 中学校では休みがちだったけど、高校で勉強したい。
- 普通科志望だけど工業や商業の勉強もしてみたい。

- ☆ 国数英は30分授業にするなど基本の定着に重点を置いた授業をする高校
- ☆ 個々の生徒に応じた少人数の習熟度別授業を取り入れた高校
- ☆ 総合単位制普通科高校や通信制高校
- ☆ ICTを活用したオンライン授業による学校間連携

## 多様な学び重点<学びへの支援>

- TPOを考えた行動がとれるようになりたい。誰とでも気軽に話せるようになりたい。
- 日本語が苦手だけど、高校で勉強したい。

- ☆ ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル習得に係る支援を行う高校
- ☆ 生徒と保護者の生活状況などにも配慮しながら支援に取り組む高校

## 生活・体育・芸術系重点<興味関心>

- 中学時代に頑張った部活動のスポーツや音楽、美術を専門的に学びたい。
- 将来、ファッション業界で働きたい。

- ☆ 体育や音楽等の学科やコースを設置して専門的に勉強する高校
- ☆ 魅力ある部活動のある高校